

令和6年度 学校経営方針

長崎市立式見小学校

1 学校教育目標について

憲法・教育基本法・県教育方針等

【長崎市教育方針】(R4年度～R7年度)

長崎市の教育は、学校・家庭・地域が一体となって、長崎のまちを愛し未来を担う子どもたちの育成をめざすとともに、だれもが生涯を通じていきいきと学び、楽しみ続けられる社会の実現に努める。とくに、本市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」、「希望あふれる人間都市」の実現に向け、長崎市独自の歴史・文化を活かし、平和を求め、多様性を認め合う、国際性豊かな市民の育成に努める。

【長崎市第五次総合計画前期基本計画】(令和4年度～令和7年度) 教育の振興に関する分野より抜粋

G:私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします

【学校教育】G1長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育みます

- ・「確かな学力」の向上を図ります(G1-1) ・家庭・学校・地域の連携による教育の充実を図ります(G1-3)
- ・健やかな心と体を育成します(G1-2) ・安全・安心に学べる教育環境を整備します(G1-4)

【学校教育目標】

四気満ちて笑顔の花咲く学校

やる気(知) こん気(徳) げん気(体) ゆう気(心)

四気満ちるとは・・・

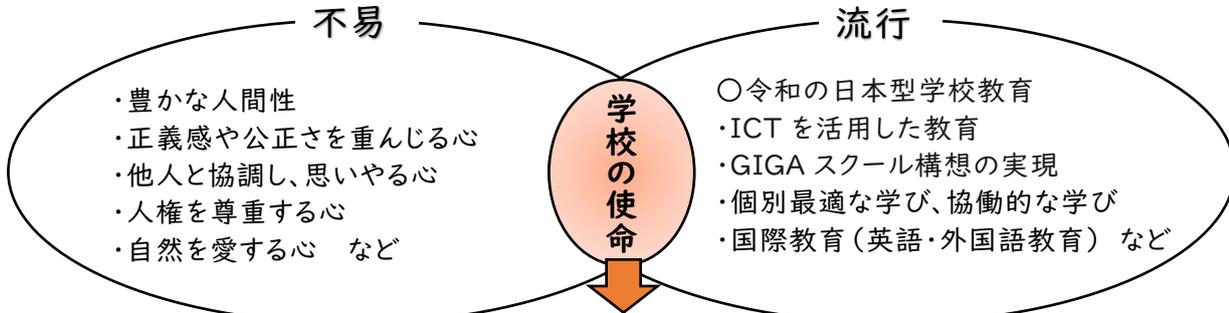
	やる気(知)	こん気(徳)	げん気(体)	ゆう気(心)
学校像	学力の向上を目指す学校	美しく静かな学校	健康で安全な学校	子どもの笑顔があふれる学校
子ども像	自ら進んで勉強する子(やる気) 	粘り強く努力する子(こん気)	元気に運動する子(げん気)	優しく思いやりのある子(ゆう気) 
教職員像	プロとしての資質を磨き、授業を第一に、切磋琢磨しながら互いを高め合う教職員	毎日の出会いを大切に、子どもの成長のために誠実かつ粘り強く取り組む教職員	心身共に健康で、笑顔で子どもと接し、子どもと遊ぶ教職員	子どもたち一人一人の違いを尊重しながら、情報を共有し、互いに助け合う教職員
授業像	子どもの目が輝き、やる気を引き起こす授業	一人一人の学びに目を向け、学びの足跡が見える授業	子どもが自らの考えを出し合い、高め合う授業	子ども一人一人が互いに認め合い、支え合う授業
<p>・あじさいスタンダードを指針とし、少人数・複式授業においても、子どもが「伸びる」授業への改善を図る</p> <p>・プロとしての資質を磨き、授業を第一に、切磋琢磨しながら互いを高め合う</p> <p>・GIGA スクール構想を具現化する教育環境及び校内体制・教育課程等を整える </p>				

「やれば 伸びる」

チャレンジする心があれば、やった分だけぐんぐん伸びる
一人一人が成長実感 学校みんなで成長実感

2 学校経営方針について

時代のニーズや社会を生き抜く知識やスキル、技術革新など、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)が次々と現れ、私たちの教育観のアップデートが日々求められている。しかし、いかに変革の波が押し寄せようとも、その根底には「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)が流れており、私たち教職員は子どもたち一人一人にその大切な価値をしっかりと育てていくことも求められている。



不易と流行をバランスよく取り入れ、
児童一人一人に**3つの確かな力を伸ばす**ことである。

- 授業を通して、**学力**をつける(知)
- 集団生活を通して、**心の力**をつける(徳・心)
- 運動や活動を通して、**体(耐力)**をつける(体)

~やれば伸びる~ 一人一人のよさが、そして式見っ子みんなのよさが“伸びる”教育活動を展開していきましょう

全ての子は伸びたい(成長したい)

「やればできる」という言葉があります。失敗を恐れて何もしないのではなく、まずは物事に取り組むことが大事で、「やりさえすれば、案外できる」という意味が込められていると私は解釈しています。しかし、すべてが「できる」わけではなく、やってみてできないこともあり、その経験がやることそのものをあきらめてしまうことにつながる場合があります。

学校では、勉強や運動ができるようになりたくない子はいないはずですが、できないよりはできたほうが良いと思っています。しかし、「〇〇に合格した」「テストで〇点だった」と結果のみを評価したり、結果を過度に大切にしたりしていると、結果を求めるためだけのものになり、結果を出せそうにないと少しでも感じたら、そもそもやらないという思考が勝っていきます。

伸びたことに注目する

何事も「できる」までには長い道のりが必要です。その中で様々な成功・失敗を経験します。でも、その経験こそが、次にチャレンジするときの大きな力となることは間違いありません。まずは、やってみる。どんなことであれ、どんな期間であれ、まず行動することで、その経験値が蓄積します。つまり、「**やれば、その分必ず伸びる**」。この繰り返して人はさらに大きく伸びる(成長する)と思います。時に結果は大切ですが、結果のみではなく、チャレンジしたこと、頑張った過程、そして、伸びたところを認めていく(褒める)ということが大切です。子どもたち自身も、「**やれば伸びる**」という実感を自分なりにもつことができれば、次なるチャレンジの大きな原動力となっていきます。

徹底・継続でさらに伸びる(伸ばす)

1 回きりのチャレンジでも伸びはあります。しかし、あきらめず何度でもチャレンジする、こつこつ続けることで大きな伸び、大きな成長へとつながります。そして、それは自信へとつながり、その子の個性や才能へと変わっていきます。そのためには、教師の視点では「**徹底**」「**継続**」、子どもの視点においても「**継続**」が大切です。

少人数学校のよさを強みに変え、一人一人の伸び(成長)が実感できる
教育活動を展開していきましょう。

小さな学校だけど、大きな教育力を発揮する これが式見小学校!!

3 重点努力事項 下記の重点努力事項に取り組み、知・徳・体・心の4つの気をバランスよく身に付けた子どもを育成する。

	やる気(知) 【G1-1】【G1-3】	こん気(徳) 【G1-2】	げん気(体) 【G1-2】【G1-3】【G1-4】	ゆう気(心) 【G1-2】
重点努力事項(具体的方策)	<p>① 学力向上につながる授業改善(校内研究の充実)【G1-1】</p> <p>・日々の実践、継続できる複式授業への改善</p> <p>・子どもの学ぶ力を引き出す授業づくり</p> <p>主体的に学ぶ授業 児童同士で学ぶ授業 学びが力となる授業</p> <p>② 基礎学力の定着及び活用力の向上</p> <p>・基礎と活用のバランス</p> <p>・個に応じた指導、支援の充実【G1-1】</p> <p>・家庭学習の工夫・充実、家庭への働き掛け【G1-3】</p> <p>③ 学習規律の確立・徹底【G1-1】</p> <p>・物構え、身構え、心構え</p> <p>・相手を大切にすることの聞き方</p> <p>④ ふるさと学習の充実</p> <p>・150周年を見据えた学習活動の充実【G1-3】</p> <p>・地域及び外部の教育力の活用【G1-3】</p> <p>・人から学ぶ、人を学ぶ</p>	<p>① 目標を持ち、最後まで頑張り続ける態度の育成【G1-2】</p> <p>・一人一人にチャレンジの場と伸び(成長)を実感する場の設定</p> <p>・切磋琢磨する(友達の頑張りに刺激を受ける)ための働きかけ</p> <p>② 明るいあいさつ習慣化【G1-2・3】</p> <p>・友達、地域の方への挨拶の励行</p> <p>・自分から進んで挨拶</p> <p>③ 心を磨く清掃指導の徹底【G1-2】</p> <p>・無言掃除</p> <p>・時間いっぱいしっかり取り組む</p> <p>・縦割り掃除での心の磨き合い</p> <p>④ 心を整える後片付けの励行【G1-2】</p> <p>・はきもの揃え</p> <p>・くつばこは心を映す鏡</p> <p>・後片付けは活動の総仕上げ</p>	<p>① 運動に親しみ、継続して体力づくりに取り組む子どもの育成【G1-2】</p> <p>・体育的活動の充実</p> <p>・外遊びの励行</p> <p>② よりよい生活習慣の確立【G1-2・3】</p> <p>・生活リズムノートの活用(家庭への啓発・連携、協力)</p> <p>・課題のある家庭への個別的な働き掛け</p> <p>・メディア、ゲーム、ネット等を自制できる心の育成</p> <p>③ 健康教育の充実・推進【G1-2】</p> <p>・保健室(養護教諭)との連携や活用</p> <p>④ 安全教育の徹底・充実【G1-4】</p> <p>・危機及び危険を回避する力の育成</p> <p>・安心、安全な教育環境の整備</p>	<p>① 一人ひとりのよさを伸ばす学級経営の充実【G1-2】</p> <p>・少人数や複式学級のよさを生かした学級経営</p> <p>② 温かい心を育む言語・物的環境整備【G1-2】</p> <p>・正しい言葉遣いの習慣化</p> <p>・くん、さん付け</p> <p>・人を思いやる言葉遣い、言葉がけ</p> <p>・掲示環境の整備</p> <p>・特別の教科「道徳」を要とした道徳教育、人権教育の充実</p> <p>③ 異学年交流で育てる思いやりの心の育成【G1-2】</p> <p>・リーダーとしての自覚や態度、思いやり</p> <p>・あこがれ・尊敬の気持ち</p> <p>④ 読書活動の推進【G1-2】</p> <p>・学校図書館司書の活用・連携</p> <p>・本と電子書籍の併用</p>
	働き方改革	<p>① マンパワー不足に対応する「チーム式見」の協働体制づくり</p> <p>・安心、安全な職場環境づくり・・・職場が楽しいと仕事も楽しい⇔働きがい、やりがいへとつながる</p> <p>・支え合い、高め合う教職員集団</p> <p>② 超過勤務削減(月45時間 年間360時間)に向けた働き方改革を進める。</p> <p>・運動会等、児童数減に対応する内容等の見直し</p> <p>・ICT及び校務支援システムを活用した校務のスリム化・・・ICT支援員の活用</p> <p>・定時退庁日(全教職員・・・毎週木曜日 教頭定時退庁・・・毎週1回)の徹底</p>		

<令和6年度開始にあたり、思うこと>

昨年度、「シン」式見小として、気持ちを新たに、子どもたち、先生方、保護者・地域の方々への親しみを感じながら、コロナ禍が明けの教育活動を前に進めてきました。先生方のチームワークで大きな成果があがった1年でした。今年度は、「伸」(伸びる)にこだわって、子どもたち、教職員、学校 みんなで伸びる1年にしていきたいと思います。「チーム式見」で力を合わせて頑張っていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

<p>「チーム式見」として大切にしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの時間を大切に、行動する。(時間を意識して行動する。) ・教職員間(管理職も含む)のコミュニケーションを大切にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・忙しいそうな人には声を掛ける。 ・校務や行事で頑張った人にはねぎらいの言葉を掛ける。 ・悩んでそうな人にはそっと言葉を掛ける。 ・異常を感じたら、管理職に知らせる。 ・代教の先生にはお礼を言う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・報・連・相の日常化を図る。 ・お互いのよさを認め合い、敬意をもって接している。(支持的集団) ・職員室が楽しい、職員室で安らげる。・・・和気あいあいとした職員室、安心・安全な職場づくり ・先生方の思いを応援する。 ・不祥事根絶(飲酒運転、ハラスメント、体罰 等)
